

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	小学3年生までの児童及びその保護者	病気の回復期等で保育所での集団保育や、保護者が就労等により家庭保育ができない児童を預かることにより、保護者の仕事と家庭の両立を可能とする。
現状・課題	多様化する保護者の就労形態に合わせた保育サービスが求められている。	
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	児童福祉法、子ども・子育て支援法
事務事業概要	病気の回復期等で保育所での集団保育や保護者が就労等により家庭保育ができない児童の保育を行う。	
令和3年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	病児・病後児保育事業	1 施設
	病後児保育事業	1 施設

事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	21, 231, 000	25, 053, 000	12, 401, 000
		補正・流用等	円			－
		合計	円	21, 231, 000	25, 053, 000	12, 401, 000
	決算（見込）額 A		円	20, 328, 088	25, 053, 000	－
	財源内訳	国庫支出金	円	3, 673, 549	2, 260, 000	3, 982, 000
		県支出金	円	3, 673, 549	2, 260, 000	3, 982, 000
		市債	円			
		その他特定財源	円	5, 744, 600	1, 111, 000	1, 171, 000
	R2は予算額	一般財源	円	7, 236, 390	19, 422, 000	3, 266, 000
	正規職員数		人	6. 49	6. 49	0. 56
	人件費 B		円	41, 808, 580	41, 990, 300	4, 942, 560
総事業費 A＋B		円	62, 136, 668	67, 043, 300	17, 343, 560	
市民 1 人当たりコスト		円	1, 461	1, 582	412	

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	病児・病後児保育を実施する。						

